

魅力満載!! 三江線

江の川沿いの風情



《23》

休日、遅く目が覚めた朝は、車を十分ほど走らせて、潮温泉大和荘に出かける。JR三江線潮駅からは、徒歩で三分ほど。午前中は人もまばらで、貸し切り状態になることも少なくない。

山に紅葉を映し込み、冬には降る雪を静かに受け止める。そして春。この季節は、何といても桜だ。私にとっては目覚めの効能がある潮温泉。黄褐色のナトリウム泉で、皮膚疾患などに効能があるとされている。

広い湯ぶねを独り占めし、ガラス張りの浴室から、江の川と三江線、国道375号を見下ろす。温泉に入りながら眺める四季折々の景色は、筆舌に尽くし難い。

大和荘の敷地内にも、枝垂れ桜や八重桜が植えられている。風に舞

休日は、遅く目が覚めた朝は、車を十分ほど走らせて、潮温泉大和荘に出かける。JR三江線潮駅からは、徒歩で三分ほど。午前中は人もまばらで、貸し切り状態になることも少なくない。



潮温泉と潮駅の桜

花を眺め入浴 春の楽しみ



JR三江線潮駅そばの桜並木。満開の花の中に列車が入る

そういえば、私が小さそうにかかった時、父がたらいに入れて入浴させてくれた。

おかげで、顔にあとが残ることはなかったが、その後のおてんばが過ぎて、転んだり擦りむいたりの傷あとが顔中に残っている。

それでも、ほかに褒めるところがないせいもあり「肌がきれい」などと時折、褒められる。

四十二歳にもなって、すっぴんで出歩くことへの称賛だろうか？

いや、幼いころから潮の湯に入っている効能だと思ふ。

潮駅の桜のトンネルをはじめとする、美しい景色を眺めながら入浴すると、なぜだか、きれいになれるような気がする。

潮温泉の最大の魅力といえるだろう。

(邑智郡広域振興財団
高橋由美、美郷町都賀本郷在住)

隔週土曜日掲載